

恵庭市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

恵庭市は、国道36号・北海道横断自動車道・北海道縦貫自動車道・JR千歳線などの陸上交通の交差点にある。JRを利用した場合、23分で札幌に、13分で新千歳空港にアクセス可能であり、1時間圏内には苫小牧港を擁する交通環境にある。

市内は恵庭・島松・恵み野の3つの市街地と、その周囲の郊外部により形成されている。

地域公共交通の現況

- ・JR千歳線
恵庭・島松・恵み野の3地区に駅がある
- ・北海道中央バス(株)
千歳線(市内2路線)
- ・えにわコミュニティバス
循環Aコース: JR北海道バス
循環Bコース: JR北海道バスと千歳相互観光バス

恵庭市生活交通ネットワーク計画の目標・効果

目標

目標 平成25年 (平成24年10月～ 平成25年9月)	Aコース: JR島松駅 (JR恵庭駅東口) JR島松駅	71,000人
	Bコース: JR島松駅 (JR恵庭駅西口) JR島松駅	33,000人

効果

上記の目標を達成したことで得られる効果は以下のとおり

- ・バス利用者数が増加することによる収入の増加
- ・バス路線沿線の交通弱者の足の確保
- ・自家用車から公共交通利用によるCO2排出抑制
- ・自家用車から公共交通利用による交通事故の抑止
- ・市の財政負担軽減
- ・駅を中心とした集約型都市構造の構築

恵庭市地域公共交通活性化協議会開催状況

平成24年7月18日 第1回協議会
前年度収支報告・監査 本年度予算・予定
平成24年11月8日 第2回協議会
利用状況報告 翌年度事業者選定
平成25年2月21日 第3回協議会
翌年度運行内容 事業者選定結果
フィーダー計画(案)

平成25年度事業概要

JR島松駅(JR恵庭駅東口)JR島松駅
計画運行日数: 365日 計画運行回数: 2315回

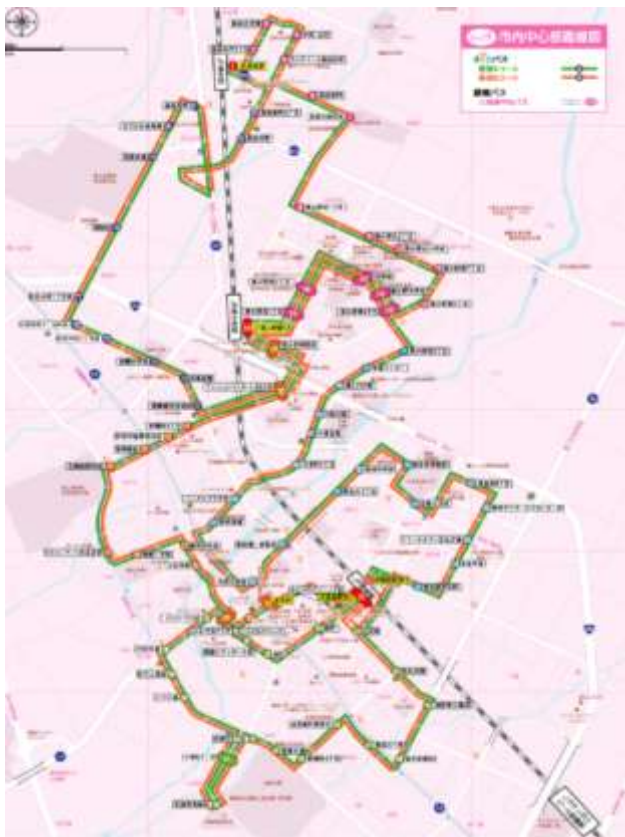
JR島松駅(JR恵庭駅西口)JR島松駅
計画運行日数: 245日 計画運行回数: 1225回

平成25年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・バスマップ付の全バス停記載の時刻表を作成し、市内の公共施設とJR駅にて希望者に配布。
- ・JR恵庭駅に新設された待合広場にバス専用の掲示板を設け、路線図や時刻表を掲示。

2) 運行ルート



3) 利用実績

		JR島松駅 (JR恵庭駅東口) JR島松駅	JR島松駅 (JR恵庭駅西口) JR島松駅
		利用者数	利用者数
H24	10月	5,442	2,402
	11月	6,859	3,116
	12月	8,660	4,115
H25	1月	8,420	3,770
	2月	8,381	3,847
	3月	9,197	4,016
		46,959	21,266

4) 収入実績

		JR島松駅 (JR恵庭駅東口) JR島松駅	JR島松駅 (JR恵庭駅西口) JR島松駅
		収入合計	収入合計
H24	10月	854,332	403,799
	11月	1,046,841	503,435
	12月	1,234,062	588,056
H25	1月	1,278,875	629,546
	2月	1,206,931	587,656
	3月	1,306,734	599,228
		6,927,775	3,311,720

5) 事業実施の適切性

JR島松駅(JR恵庭駅東口)JR島松駅

JR島松駅(JR恵庭駅西口)JR島松駅

各事業は、それぞれ計画通り適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

JR島松駅(JR恵庭駅東口)JR島松駅
目標71,000人に対し 80,292人(見込)

JR島松駅(JR恵庭駅西口)JR島松駅
目標33,000人に対し 36,081人(見込)

7) 事業の今後の改善点

現在までの利用者数の伸びが大きく、今後同様の増加が見込めるかは不透明な状況。

今後は、新たな利用者を獲得するための広報活動に力を入れ、利用者層の拡大を図りたい。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。

現在までの利用実績は好調であり、年間目標値の達成が期待される。

今後は利用者層拡大に向けた広報活動の強化と、特に既存利用者のニーズを踏まえた適切な運行の実施等を図り、持続可能な事業となることを期待する。